



## 第8回日本化学連合シンポジウム

### 資源リスクマネジメント： 化学は何ができるか

＜趣旨＞ 環境、エネルギー、持続的発展とともに、「資源」は現在の国際社会における緊急の課題として重要であり、またこれらの諸課題と互いに密接に関連している。国際的課題としての資源問題には、資源枯渇、希少資源確保、代替資源開拓（元素戦略）、遍在資源管理など、様々な因子が関与し、その状況は流動的でもあり、また学術・技術とともに国際関係など、複合的な因子が関連している。同時に、個々の資源についての国際社会や学界での認識にも温度差があるように思われる。

このような「資源問題」に対して、物質に関する学術・技術分野としての「化学」が果たす役割はきわめて大きい。言うまでもなく、希少資源の開拓と確保、代替元素の開拓、これらによる新反応の開発など、化学でこそ貢献できる資源問題の課題も数多い。

これらの視点から、今回の化学連合シンポジウムでは「資源リスクマネジメント」を主題として取り上げ、この課題に対して、現状認識と将来展望を新たにするとともに、「化学は何ができるか」についても議論することを目的とした。そのため、「資源問題」の諸局面のうち、エネルギー戦略、水資源、水素戦略、金属資源について専門家の方々に講演をお願いした。これを機会に、資源リスクとそれに対する化学の貢献について、新たな視点が認識され、化学コミュニティーの貢献が高まることを期待したい。

主催 (一社) 日本化学連合

後援 (独) 科学技術振興機構、(株) 化学工業日報社、(一社) 化学情報協会、  
(一社) 日本サイエンスコミュニケーション協会

日時 平成 27 年 3 月 18 日 (水) 13:00 - 19:00

会場 化学会館 7 階ホール(千代田区神田駿河台 1-5, JR 御茶ノ水駅より徒歩 5 分)

(会場へのアクセスは、<http://www.chemistry.or.jp/access/index.html> をご覧ください)

#### プログラム

〔司会 日本化学連合 副会長・企画委員会委員長 澤本 光男〕

**第 1 部 資源リスクマネジメント：化学は何ができるか 13:00 - 15:10**

＜13:00 - 13:05＞

主催者挨拶

日本化学連合 会長 中尾 真一

＜13:05 - 13:35＞

講演 1 「エネルギー・気候変動リスクと日本の戦略」

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所・研究顧問 十市 勉

＜13:35 - 14:05＞

講演 2 「水資源の確保と国際標準化」

一般財団法人 造水促進センター 理事 大熊那夫紀

＜14:05 - 14:35＞

講演 3 「水素エネルギー その期待と課題」

新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部・主任研究員 大平 英二

<14:35- 15:05>

講演 4 「都市鉱山：貴金属のリサイクリング」

田中貴金属工業(株)・湘南工場 ○奥田 晃彦・上田 哲也

<15:05- 15:20> 休憩

第2部 科学・化学コミュニケーション

15:30 - 17:00

<15:20 - 15:50>

講演 1 「サイエンスコミュニケーション研究の広がり」

東京大学大学院理学系研究科・准教授／広報室副室長 横山 広美

表彰式「化学コミュニケーション賞 2014」

16:00 - 17:00

<16:00 - 16:15> 選考委員長挨拶・選考結果説明

日本化学連合 副会長・化学コミュニケーション賞選考委員長 村松 淳司

<16:15 - 16:25> 授与式

日本化学連合 会長 中尾 真一

<16:25 - 16:55>業績紹介

<16:55 - 17:00>閉会の挨拶

日本化学連合 副会長・企画委員会委員長 澤本 光男

第3部 交流会

17:15 - 19:00

5階 501会議室

【注意事項】

1. 消毒液をトイレと一階エレベーターホールに置いてありますのでお使いください。
2. 非常時の避難方法や退避路などは配布したマニュアルに従ってください。

シンポジウム参加費：無料（ただし、事前の参加登録が必要です）

参加申込方法：氏名、所属、連絡先を明記の上、3月11日（水）までにE-mailかFAXで下記あてお申込みください。

申込先・問合せ先：一般社団法人 日本化学連合 事務局 URL:<http://www.jucst.org>

E-mail:[ohashi@jucst.org](mailto:ohashi@jucst.org) 電話:03-3292-6010, FAX:03-3292-6319